

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年12月26日

我孫子市小中一貫教育だより  
第276号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな~!

Abi-English 「道案内をしよう」

11月29日に久寺家中学校の第1学年で、「ショッピングモールでの道案内」をテーマにした外国語の学習が行われました。

学習の最初は、Abi-phonics で発音の練習から始まります。続いて、本時のゴール「ショッピングモールの道案内のやり取りができるようになる」を確認しました。その後全員起立し、ALT から“Turn left!” “Turn right!” “Go up!” “Go down!” と指示が出され、英語を言いながらその動作を素早く行いました。目をつぶって、スピードアップして行くなどのゲーム要素も入り、ウォーミングアップから楽しく、たっぴりと英語で活動しました。

次に、Abiko Shopping Mall の地図が配付され、大型モニターにはその地図と「うな吉」が映し出されました。ALT と教科担任がスタッフと客に扮し、道案内の会話のやり取りをします。その道案内の通りにうな吉を動かし、目的地までたどり着かせました。活動の確認をしたところで、本時で使う英語の練習を行いました。



Activity では、生徒の ICT 端末に地図が配付され、友達同士で道案内のやり取りをしながらうな吉を目的地までたどり着かせます。活動の最初はワークシートに書かれた英語を見ながら道案内をしていましたが、スタッフ役と客役を交換したり、ペアの友達を変えてやり取りしたりすることで、すらすらと言えるようになってきました。学習の最後には、書かれた英語を見なくてもやり取りができるようになり、達成感を味わえる学習となりました。

Abi-English 「レストランで食事をしよう」

11月29日に久寺家中学校の第2学年で、「レストランでのスタッフと客のやりとり」をテーマに外国語活動の学習が行われました。

最初の英語の挨拶後、教科担任から兄弟姉妹に関する Small talk がありました。その後生徒は友達と兄弟の人数を伝え合い、自分のことを伝えたり相手のことを知ったりするウォーミングアップとなりました。

続いて、それぞれが辞書を用いて本時で使う英単語の意味調べを行い、全体で発音練習をしました。さらに英語で書かれたメニュー表が配付され、その発音練習も行いました。

次に、ALT と教科担任のデモンストレーションで活動の確認をしました。会話の型はワークシートにあり、空欄を自分で決めたメニューを入れることで完成します。準備が整ったところで、ペアでスタッフ役と客役に別れ、会話をします。役を変えたり、ペアを変えたりしながら進めることで、スムーズに話せる生徒が増えていきました。

さらに発展的な学習で、グループで漫画のセリフを考える活動を行いました。設定はレストランでのスタッフと客とのやり取りなのですが、客のセリフでスタッフがずっこける場面が2箇所あり、どんな言葉を入れれば良いか、友達と頭を突き合わせて考えていました。上手に考えられた2グループが全体の前で発表し、みんなから称賛されました。主体的・対話的で深い学びの実践が見られる授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年1月13日

我孫子市小中一貫教育だより  
第277号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 教育ミニ集会と中学校区合同学校運営協議会の様子を紹介するうな～！

### 教育ミニ集会

11月22日に我孫子第一小学校で、我孫子第四小、白山中学校と3校合同の教育ミニ集会が行われました。会場には、3校の教職員、保護者、地域の方が集まりました。



今年度は、親学をテーマに、我孫子市教育委員会教育相談センターの遠藤美香所長を講師に迎え、「大人が子どもの行動に困ったときには」を題とした講演を聞きました。講演の内容には、大人と子どもが良好な関係を築くためのヒントが散りばめられ、参加者からは「自分自身の言い方が、子どもの発達に合っているのか、今後よく考えたいと思った。」「褒める方法と叱る方法について心に残った。存在を認める大切さを学んだ。」「心の発達に体の発達も深くかかわっているとの話が目から鱗だった。」などの感想がありました。

11月21日には、湖北台東小学校でも、湖北台西小、湖北台中学校の3校合同の教育ミニ集会が同テーマで行われています。教職員、保護者、地域の方々、義務教育9年間の子どもの成長を見つめ、また子ども達と関わっていく中で、大切な視点を学ぶ機会となりました。

### 久寺家中学校区 3校合同学校運営協議会

11月24日に根戸小学校で、並木小、久寺家中学校の3校合同の学校運営協議会が行われました。

前半は学校ごとに集まり、各学校の学校運営の様子や学校評価アンケートの内容、学校が課題としていることなどについて協議を行いました。

後半は3校の学校運営協議会委員が一堂に会して協議を行いました。まずは、各学校のグランドデザインについて共有したあと、久寺家中学校区の小中一貫教育グランドデザインについて確認しました。これらを受けて、全体の進行を務めた根戸小学校学校運営協議会会長は、小中一貫教育の意義を理解した上で、そうした視点をもって学校や子ども達を見つめてほしいと委員へ呼びかけました。



続いて、我孫子市共通の小中一貫カリキュラム「Abi☆小中一貫カリキュラム」の内容や、取組について共有しました。また、今年度から学校評価のアンケート項目に小中一貫教育の保護者、教職員の周知・理解促進のため3校共通の小中一貫教育に関する項目を入れることについて共通理解を図りました。



協議の中では、「子どもたちが『Abi-ふるさと』で学んでいる我孫子の先人について、保護者も一緒に学べる機会があるとよい。」「『環境・人をつなぐ』という点では、久寺家中学校区の特色として中学校区全体で地域学校協働活動（ボランティア）が行われていることを、グランドデザインで示せるとよい。」といった意見が出ていました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年1月13日

我孫子市小中一貫教育だより  
第278号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 小小交流活動と教育ミニ集会の様子を紹介するうな～！

### 白山中学校区「小小交流活動」

11月10日と12月15日の昼休みに、Microsoft Teamsを使って、一小と四小の児童会オンライン会議が行われました。両校の児童会役員は、「入学する前に知りたいこと」を白山中学校の生徒に質問するために、11月の会議では「どんなことを聞きたいか」「各校いくつ質問するか」を話し合い、12月の会議では各校から質問する内容を決定しました。



オンライン会議を重ねるごとに、オンラインでの「話の仕方」「聞き方」が上達し、スムーズに話し合いができるようになってきました。質問したい内容を聞きあう中で、両校に同じ質問があると嬉しそうにうなずいたり、微笑んだりし、予想外の質問が出ると、驚いたり納得したりする姿が見られました。

お互いの小学校について「すごいね」「よく考えているね」と認め合い、良い関係を作っています。白山中へ質問する日を楽しみに、両校の児童会役員たちは笑顔いっぱい手を振り合いながら会議を終えました。

### 布佐中学校区「3校合同教育ミニ集会」

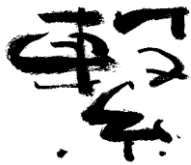
11月30日に布佐中学校で布佐小学校、布佐南小学校と「地域と学校が力をあわせて子どもたちにできること～今までの活動を振り返りながら～」をテーマに3校合同教育ミニ集会が行われました。

最初に地域学校協働活動推進委員から各学校の活動紹介がありました。布佐中学校では「着付け授業」「夏休み宿題お助け隊」など、布佐小学校では「プールや池の清掃」「150周年記念式典に向けた取組」など、布佐南小学校では「挨拶運動」や「交通安全運動」などを紹介しました。また、布佐の歴史について、布佐中学校区の長年の取組などについて、説明を行いました。



次に、参加者を17のグループに分け、情報交換をしました。子どもを通わせる保護者の思い、地域住民としての思い、そして勤務する教職員の思いを伝え合いました。郷土愛たっぷりの方のお話からは地域の魅力を感じることができ、また教職員や地域の方の努力に感謝する場面がたくさんありました。

まとめの場面では、布佐中学校長から「布佐の人は昔から『オウが学校』であり、ずっとコミュニティ・スクールをしている」と話がありました。コロナ禍であっても地域も学校も子どもたちのために力を尽くしています。初めて本会に参加した方や、新たに勤務した教職員には、地域の情報が入るよい機会となりました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年1月17日

我孫子市小中一貫教育だより

第279号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ICT と Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

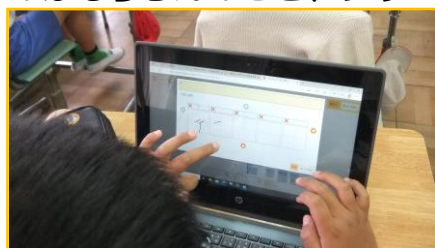
### Abi-ICT 「著作権について考えよう」

12月1日に布佐小学校の第4学年で、「著作権について考えよう」をテーマに情報モラルの学習が行われました。

最初に、担任から「インターネット上にある画像を使用したことがありますか？」という質問がありました。みんなはコラボノートEXを使って、自分の回答を書き込みます。みんなの回答をまとめたものが瞬時に見ることができ、ほとんどの人が使用したことがあるとわかりました。

次に、「ネット上のフリー素材をポスターにした例」や「SNSへの画像の2次利用の例」を題材にした動画を視聴し、その問題点について考えました。画像を勝手に使うことは良くないのはもちろんのこと、フリー素材であっても利用条件をきちんと確認することの大切さを学びました。そして、今後の画像の利用について、自分だったらどうしようと思うか発表をしました。

学習の振り返りでは、「ネットの画像を使うときはきちんと利用条件を見ようと思う」や「人の画像を使いたかったらきちんと許可を取ろうと思った」など、著作権を守ろうとする感想が多くみられました。



### Abi-English 「Alphabet」

12月2日に湖北台東小学校の第4学年で、「アルファベットの小文字」について学ぶ外国語活動が行われました。

最初に、ウォームアップでABC song を歌い、続いてアルファベットの小文字カードで発音の練習をしました。発音練習では、Aから順番に確認しましたが、慣れてくるとランダムに示されたアルファベットを答えたり、途中のカードを抜いたり、順番を入れ替えたりと様々な工夫のもと練習しました。

本時のゴール「アルファベットを友達に伝えよう」が示され、ゲームのデモンストレーションが担任とALT とで行われました。それぞれがアルファベットカードを持ち、友達に “Do you have a A?” と質問します。相手は “Yes, I do.” か “No, I don't.” で答えます。Yes の場合は担任にカードを渡して新たなカードをもらい、No の場合は友達とカード交換をします。

いよいよ Activity です。子どもたちは積極的に友達に声をかけに行き、ゲームを進めます。英語でやり取りしながら、Yes と答えて大喜びする姿、No でも友達と笑顔でカード交換する姿はきらきらと輝いていました。担任やALT も一緒になってゲームに混ざり、教室が楽しそうな雰囲気となりました。Activity の後は本時の振り返りを代表の子が発表しました。友達と楽しく学んだ様子が伝わる振り返りでした。

そして最後に、チャレンジソングとしてスピードが速いABC song を元気よく歌って授業が終わりました。







TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年1月17日

我孫子市小中一貫教育だより  
第280号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-English 「What do you want?」

12月7日に根戸小学校の第4学年で、「何が欲しいかたずねよう」をテーマに外国語活動の学習が行われました。

日直の英語の号令で学習が始まり、「How are you?」の問いかけに元気よく自分の気分を言いました。そして「What day is it today?」「What time is it?」といった質問にもすらすらと英語で答えていき、日々の学習がきちんと身につけていることが伝わりました。

次に、歌を歌いながらフォニックスの確認をし、単語の文字当てクイズをしました。ALTが動物の名前を英語で発音し、単語の最初の文字を当てるクイズです。多くの児童が挙手して答え、文字と音の結び付けも定着していることが伺えました。

本時の Today's Goal 「何が欲しいかたずねよう」と Today's Key Point 「What do you want?」を確認し、発音の練習をしました。ピザ屋で注文する場面を設定し、ピザの具材を「I want ~.」で答えます。自分の好きな具材が出ると「僕も!」と、みんな嬉しそうに反応していました。

続いて、グループに分かれて Activity を行いました。まず、グループで欲しい具材を3つ考えます。次に、他のグループから「What do you want?」と質問され、「I want ~, ~ and ~.」と答えます。全グループが発表したところで、ALT から選んだ具材のポイントが発表され、合計得点で他グループと競い合います。グループで具材を決める場面では、「ALT の先生の好きな具材を選ぼう」や「全部 P で始まる具材を選ぼう」とアイデアを出し合いながら相談していました。得点発表の場面では、歓声が上がり、学級みんなで楽しんで英語に取り組んでいました。



### Abi-English 「Numbers」

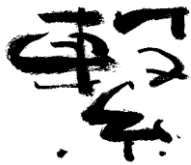
12月8日に湖北台西小学校の第1学年で、「数字を英語で言おう」をテーマに学級活動が行われました。

最初に、英語で挨拶の練習をしました。ALT がジェスチャーを交えながら言葉の確認をすることで、明るい雰囲気ですスタートしました。確認が終わると「Hello, how are you?」の歌を体を大きく動かしながら大きい声で歌いました。

続いて、サッカーのワールドカップ日本代表選手をテレビに映し、背番号を英語で聞きました。そこから本時のゴール「1~10までの数字の言い方をおぼえよう」を確認し、One~tenまでの英語カードを使って、発音練習をしました。順番通りだとすらすら言える子が多いのですが、大きい数から小さい数の順で言ったり、ランダムに指された番号を素早く言ったりするのはなかなか難しく、繰り返し練習して定着を図りました。さらに Seven Steps で体を動かしながら歌うことで、楽しみながら覚えていきました。

Activity の1つ目は、友達とペアになって行いました。1人の子が数字を指さし、「What number?」と尋ねます。もう1人の子は指された数を英語で答えました。2つ目の Activity は Find the smile game というゲームです。最初にクラスのみんが目を隠し、黒板にある数字カードの下に ALT が色々な表情の絵を隠します。そして、クラスのみんが「What number?」と尋ね、指名された子が数字を言ってカードをめくり、絵が隠れている数字を当てました。どちらの活動も大盛り上がりで、「英語の勉強が楽しい!」と感じられる授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年1月17日

我孫子市小中一貫教育だより  
第281号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-English 「Color」

12月15日に湖北台東小学校の第2学年で、「好きな色」をテーマに学級活動が行われました。英語の号令で学習が始まり、Today's Goal「好きな色を伝えよう」の確認をしました。そして ALT と色の英語練習をしました。色カードが黒板に貼られ、順番に確認します。その後、ランダムにカードが指され、「What color?」の質問にテンポよく答え、定着を図りました。

次にクイズタイムです。大型モニターに国旗が映し出され、国旗に使われている色を英語で答えました。複数の色は and で繋いで、的確に答えました。続いて大型モニターで The rainbow song を視聴し、みんなで歌いながら虹の色を練習しました。

本時の Activity で使う英語 “What color do you like?” “I like ~.” を練習しました。デモンストラーションで言葉の意味を確認し、ALT やペアで会話の練習を繰り返しました。Activity は color Bingo です。3×3の9マスに自由に色を塗って友達と出会います。友達に “What color do you like?” と質問し、“I like ~.” の回答で言われた色をチェックします。1つでも多くのビンゴを作るために、子どもたちは夢中になって取り組みました。最後に、チャレンジタイムとして代表の子が全体の前で ALT と会話をしたり、代表の子同士で会話したりしました。どの子も学習を通して英語に自信を持ち、堂々と発音できるようになりました。



#### Abi-English 「Numbers」

12月19日に我孫子第四小学校の第1学年で、「数字を英語で言おう」をテーマに学級活動が行われました。体を大きく動かせるよう、音楽室で行いました。HRT も ALT も、穏やかな笑顔で話す言葉は全て英語です。

最初は英語の絵本の読み聞かせがありました。本の名前は “Tiny Boppers” で、Boppers というキャラクターをみんなで数えながら、これから「数」について学習していくことを知りました。さらにそこには swinging や rolling など、動きを表す表現もあり、「見て」「聞いて」「話して」「動いて」楽しい読み聞かせの時間となりました。

Activity1 では、最初に One～ten までの英語の正しい言い方を教わりました。順番通りにすらすら言えるようになったら、ランダムに指された数字でもきちんとと言えるか確認しました。十分練習した後は、Ten Steps を歌って踊りました。1 から 10 までの数字を言いながら、体のいろいろな部分をタッチして楽しみながら練習しました。

Activity2 では、ペア作りゲームをしました。最初にみんなで Ten Steps を歌い、ALT に “What number?” と質問します。ALT は “Three!” と数を言うので、言われた数の人数が集まって座るゲームです。みんなペア作りに必死でしたが、ゲームとゲームの間に発音練習をすることで「大切なのは英語を話すこと」だと気づき、楽しく英語学習ができました。

振り返りの場面では、振り返りカードを使って ALT や HRT の英語がきちんと聞き取れているかクイズ形式で確かめました。みんなよく聞き取れ、理解していることがわかりました。学習の感想も「1 から 10 までの英語を覚えられました」といった内容であふれていました。







TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月3日

我孫子市小中一貫教育だより

第282号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-English と Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-English 「My Memory」

1月18日に我孫子第一小学校の第6学年で、「My Memory」をテーマに Abi-English が行われました。先生たちと英語で挨拶をし、授業が始まりました。復習として先生たちが自分たちの Best Memory を英語で紹介しました。ALT が故郷のオーストラリアでの学校行事の写真を見せながら話をすると、写真を見て日本と違うところを発見したり、先生の話に相槌を打ったりなど興味深そうに話を聞いていました。



その後、学校行事を英語で言う練習を行いました。“Visiting the Diet building” (国会議事堂見学) など難しい単語も出てきましたが、児童は先生のあとに続いて発音練習をしました。その後、デジタル教科書を用いてリスニング活動を行いました。スピーチをしている映像を見ながら、その子の1番の思い出は何かなどスピーチの内容を聞き取りました。みんなよく聞き取ることができていて、中には答えを英語で書いている児童もいました。リスニングの後はライティングです。学校行事の英語名をプリントに書きました。どの児童も見本にならって丁寧に書きました。先生から「四線を意識して文字を書くことが中学校の英語の授業につながっていく」とアドバイスがありました。

最後にアクティビティとしてそれぞれのタブレット端末を使ってゲームを行いました。本時で習った単語がイラストで表現され、その内容を表している単語を選択肢から選ぶというものです。児童はスラスラと解いており、本時の内容がしっかりと定着している様子がうかがえました。ICT も活用した充実した内容の学習でした。

### Abi-ICT 「プログラミング学習」

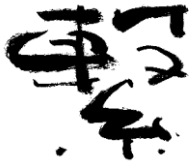
1月19日に並木小学校の第4学年で、「熟語クイズ大会をしよう」をテーマに総合的な学習が行われました。国語科「熟語の成り立ち」で学習したことを、プログラミングしてクイズにし、友達同士で出題し合う学習でした。



最初に「似た意味の組み合わせ」「反対の意味の組み合わせ」「上の漢字が下の漢字を修飾」の3つの熟語の成り立ちを確認しました。次にそれぞれが熟語を考え、その熟語が3つの成り立ちのうちどれにあたるのか、3択クイズにします。クイズの作成には、ジャストスマイルのスマイルブロックを使用しました。ブロックを組み合わせ、正解すると正解メッセージが出たり、間違ってしまうと誤答メッセージが出たりするプログラムを組みました。難しいプログラミングは友達と相談しながら、一つのブロックを確認し、トライ＆エラーを繰り返しながら完成させていきました。

クイズが完成すると、さっそくグループで問題を出し合いました。作成者が問題を読み、グループの友達が解答します。正解発表で解答ボタンをクリックし、正解だったときはガッツポーズで喜ぶ姿がたくさん見られました。児童によっては問題をたくさん作成し、相手によって出題する問題を変えて楽しみました。グループでのクイズ大会後は、代表児童の画面を共有しながらクイズを行いました。

学習の最後に総合ノートに振り返りを記入し、発表しました。クイズの完成や、クイズを通して漢字の学習ができた喜びを表現する姿がたくさん見られる実践でした。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月3日

我孫子市小中一貫教育だより

第283号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-English と Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-English「Fruits」

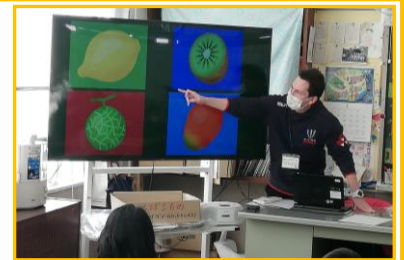
1月18日に我孫子第一小学校の第2学年で、「くだもの」をテーマに学級活動が行われました。チャイムが鳴る前に教室をのぞくと担任の先生と一緒に授業のはじまりの挨拶とおわりの挨拶を練習していました。ALTが教室に来ると、練習通り“Let's start our English class!”と大きな声で挨拶をし、授業が始まりました。

最初に、今日のテーマである果物の名前を練習しました。ALTが果物の一部分を写真で見せ、その単語を発音する練習です。児童はALTのあとに続いて10種類以上の果物の言い方を練習しました。

その後は、「相手に好きな果物を尋ねるやり方、好きな果物の答え方」を学びます。まずは担任の先生とALTによるデモンストレーションです。“What fruit do you like?” “I like peach.”と会話する様子を見せると児童は「わかった!」「好きなくだもの?」など各々気づいたことを口にしながら理解を深めていきました。

次はアクティビティです。1人1人が果物のカードを持ち、周りの友達や先生に好きな果物を尋ね、“I like ○○”と持っている果物カードを答える活動です。友達と活動をするたびにカードを交換するので、児童はたくさんの果物の名前や本時のキーフレーズをたくさん練習しました。その後、ALTが大型モニターにルーレットを映し、“Today's Lucky Card”を紹介します。自分の持っている果物に止まるように祈っている姿はとてもかわいらしかったです。

その後、BINGOなどのアクティビティを行い、果物の言い方、尋ね方を練習しました。最後まで児童が楽しそうな様子で取り組む素敵な授業でした。



### Abi-ICT「情報モラル」

1月25日に並木小学校の第6学年で、「インターネットの光と闇」をテーマに総合的な学習が行われました。学習の前半ではインターネットの便利な部分や怖さを感じる部分話し合いました。「簡単に調べたいことだけを調べられる。」「世界の情報がわかる」「たくさんの情報が手に入る」など、便利などところが多い反面「本当ではない情報がある」「個人情報盗まれる危険がある。」等の意見もありました。

後半では、「インターネットは必ずなくてはならないほど必要なものなのか?」を中心に、それぞれ児童のネット上で体験したことや思いを基に話し合いを深めました。多くの児童は「怖さもあるが、やはり必要」との思いが強く、今後も生活の中になくてはならないツールであると感じていました。また、一部の児童は全てをネットに頼らず、本を活用するという意見も出されました。

学習を通し、ネットに潜む危険な部分をよく理解し、正しく利用することで現状が好転するだろうとまとめました。情報モラルの「モラル」は「人として守らなければならない正しい行い」であることを確認しました。







TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月15日

我孫子市小中一貫教育だより

第284号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ICT「情報モラル」

1月26日に我孫子第一小学校の第5学年で「情報モラル」をテーマとした道徳の授業が展開されました。教材は道徳教科書「その遊び方、大丈夫？」です。

導入ではインターネットの利用に関して、家でのルールについて確認しました。時間の制限、有害サイトのブロック、コメントの投稿禁止など多くの家庭にルールがあり、そのルール設定の理由についても理解していました。

続いて教科書を読み、あらすじを確認しました。そして、友達である「ゆづる」の個人情報を使ったオンラインゲームのキャラクターを作ろうとした「おさむ」の気持ちを考えました。児童は「一緒に楽しく遊びたい」や「ゆづるの友達を増やしてあげたい」といった決して悪気のない純粋な気持ちを答えました。ここでゆづるが不快な思いをしていることを確認し、それについておさむがどう思ったかと主発問を投げかけました。児童は班で意見交換した後に「平気だよ」「僕に限って」「せっかく作ったのに」といった自分の経験を基にした本音が語られ、「事件が起きる前に」「もしも・・・」「本当にあるかも」という意見と葛藤しながらもおさむの気持ちの変化を的確に捉えていました。

まとめとして、担任から「個人情報を守るためにはどうする？」と問いかけられ、班で話し合ってから発表しました。最後の振り返りでは、児童の記述や発表から、本時のねらいが十分に達成されていることを確認できました。1時間を通して、児童は集中して深く考え、自分の考えをノートいっぱい記述したり、活発に発言したりした素晴らしい授業でした。



#### Abi-ICT「プログラミング」

1月27日に我孫子第二小学校の第5学年で、プログラミングを使って正多角形を作る算数の授業が行われました。前時の学習で児童は正三角形や正方形の性質に着目をし、プログラミングソフト「Scratch」を使って画面上に作図しました。今回はその知識を用いて、いろいろな正多角形を作るというものでした。

まずは先生と一緒に正五角形、正六角形の内角や外角など特徴を確認しました。その特徴をどこのスクラッチブロックに入力すればいいのかを個人で考え、実際に入力をして作図をしました。思っていた形と全く異なり、「なんで？」と首を傾げながらも自分で原因を探り、新たな数字を入力していました。幾何学模様のようなきれいなものが出来上がったり、星型になったりと予想外の形に驚き、周りの友達と共有する様子がありました。たくさんのトライ&エラーを繰り返し、少しずつ求めている図形に近づいていくと嬉しそうな様子でできた図形を見ている児童がたくさんいました。図形をただ描くだけでなく、一辺を描くたびに一旦停止をするようにプログラミングをするなど工夫をしていました。



授業の終盤では実際にきれいに作図できた児童が作った正九角形や正十角形などを紹介し、正多角形を作る時のポイントをまとめて授業を終えました。休み時間になっても自分の作った面白い図形などを紹介しあう様子があり、プログラミングを使った作図作業が児童にとっても有意義であることを感じた授業でした。



# T S U N A G U

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年2月15日

我孫子市小中一貫教育だより  
第285号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ICT「操作技能」

1月30日に我孫子第一小学校の第1学年で、タブレット端末のカメラ機能を学習しました。

図工の学習で児童は「ぐにゃぐにゃたこ」を制作し、楽しく校庭で飛ばすことができました。本時では、制作した工作の振り返りを行います。振り返りシートに内容を書きたいのですが、できれば制作物を見て確認しながら書きたいのです。しかし、机の上に広げると振り返りシートが置けません。床に置くのも気になります。そこで先生が「良い方法はないかな？」と投げかけると、児童から「タブレットで写真を撮って、それを見ながら書けば書きやすいと思う」との声が上がりました。早速、全員でタブレット端末のカメラ機能の操作方法を学習することになりました。



始めはカメラアプリを起動させるまで戸惑う児童も見られましたが、ICT教育支援員の補助やアドバイスを受け、カメラの準備ができました。先生からはさらにインカメラ・アウトカメラの違いやタブレットを手を持つ時の注意等を丁寧に説明されました。

その後、各自思い思いに視点や角度を変えながら撮影を楽しみました。学習の後半では撮影した写真を見ながら振り返りシートを書くことができました。

### Abi-ICT「プログラミング」

1月31日に新木小学校の第6学年で、MESHというプログラミングツールを活用した理科の学習が行われました。MESHは理科の教科書にも紹介されているツールで、専用アプリと各種センサー、受信部、可動部で構成されています。

理科「私たちの生活と電気」の学習で、先生は昼と夜の街灯の写真を提示し、「どうして夜になると街灯が点灯するのでしょうか」と投げかけると、これまでもプログラミング学習を経験している児童は「センサーとプログラミングを使っていると思う」と、すでにデジタル機器に慣れ親しんでいる反応を返しました。また、暗くなると自動点灯する街灯の良さを確認しました。



本時では生活の中で広く活用されている街灯の自動点灯のシステムを前述のツールを使ってプログラミングし、模擬シミュレーションします。

児童は班ごとに1つのMESHに向かって協働でプログラムを作成していきます。作成途中には「センサーが反応しLED電球が点灯したけれど、明るくなくても点灯したままだ」、「明るくなったら～、のプログラムも必要では？」と、トライ＆エラーを繰り返し完成に至りました。どの児童もプログラミングに熱中していました。

